

【ピリピ人への手紙 4章】

「いつも主にあって喜びなさい。～何も思い煩わないで、あらゆるばあいに、感謝を持ってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。」(ピリピ4:4、6)

パウロは獄中で、明日どうなるかわからないような身で、上のような言葉を語ったのですから驚くべき信仰です。彼は自分の罪の身代わりにイエス・キリストが罰を受け十字架で死なれたことを信じました。そして、いつもどんな状況の中にも、3日目に死人の中から復活された主が共にいることの感謝・平安・勝利・喜びを感じていたからでしょう！パウロのような偉大な信仰は持てないと思っている方でも、同じ主が共におられるのです！自分や状況を見て失望するのではなく、主を見上げて喜び感謝をもって(今年の御言葉のように) 全能の主に、祈りと願いを捧げましょう。神に祈り委ね、知って頂くと、「人のすべての考えに勝る神の平安」が私たちの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれるのです。→霊的祝福

今礼拝に使っているこの「ハウス」は、住んで14年目になりますが、毎回神様が家賃を満たして下さっています。今まで困難も許されましたが、夫婦で心を合わせ(これが大切！) 満たされそうにない時も、その事を感謝して、従順していない事等具体的な悔い改めをし、調整されることに身を委ね、神様に信頼して祈り、願いを申し上げてきました。神様は本当に真実なお方で、必要の全てを与えてくださいました。

19節「私の神は、キリスト・イエスにあるご自身の栄光の富をもって、あなたがたの必要をすべて満たしてくださいませ。」

雲の間にある虹誌やみ声新聞には多くの良い証しが載っていますが、11月号の上館師の“Praise the Lord!”p.42を是非お読みください。「いつも、頭の中でこうなるとシナリオを考えると、絶対にそうはならず、神様はもっと素晴らしいことをなしてくださいませ」と記してあります。

13節「私は、私を強くしてくださいませの方によって、どんなことでもできるのです。」とありますが、これは自分勝手な願い事どんな事でもというのではなく、神様の要求・・・“神様のみ心の為にどんな事でも”という事です。宣教第2ステージに立たされ、神様の働きは拡大しています。神様は人知をはるかに越えた奥の手(神のみ手)をもって、私たちの必要を満たし、神様ご自身のわざを成し遂げられていかれるでしょう。主に期待し、従順してゆきましょう。

* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意ください。
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師: イエス・キリスト

牧師: ダニエル大重

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2012.10.28 No.707

今年のみ言葉 歴代誌Ⅱ 20:22

我らが喜びの声、賛美の声をあげ始めたとき、
主は伏兵を設けて～彼らは打ち負かされた。



イスラエルの美佳子さん・シャイさん・メイトール君
God bless you Hallelujah !

主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://tlccfrh.astone-blog.jp/>